

君はお母さんに入
ってたチンポで
犯されたくて
仕方がないんだ。

それが
ララちゃんの
本心でしょ？

だって全然
抵抗しないし
明らかに誘う
腰つきに
なってるもん。

馬鹿なこと
言わないで！

私はあんたが
あんな小さな子を
盾にするから
仕方なく……！

こいつ……！

そっか、
そうだね、
うんうん。

じゃあ
この子を
助けるために
……

おまんこを
おちんちんに
こすりつけて
生挿入してくださ
いっておねだり
できるかな？

胸……

やめて
……！

っ！
いくらなんでも
それは……！

ああ……。

ほら、
罪のない幼い子を
助けてあげるために
がんばりなよ
キッズ様……♡

こんなに近くにアしがある……っ。

そう……これは、
あの子を救うため。

せ

出来ないの？

僕は
この子を
殺しちゃう
よ？

昔教えてあげた
おねだりの台詞
覚えてるでしょ？

あれでいい
からであ。

私は、
入れてほしいなんて
ちっとも……

ぬちゃ♡

ぬちゃ♡

ほめ♡

♡♡♡♡♡

か♡

や♡

わかった！
するから……！

あの子には
手を出さない
で……。

お願い
だから……。

ほっ

そうそう。
笑顔でくばあも
忘れずにね。

ら、
ララはエッチな
女の子です……っ。

おちんぽで中を
ぐちゅぐちゅ
かき回されて……

な♡

子供おまんこに
ザーメン注がれて
イッちゃう……、

セックス大好きな
ワルガキです……っ。

ふ

ふ

こんな恥ずかしくて
屈辱なこと……

ぬちゅ♡

ぬちゅ♡

ね♡

今日も無理矢理
されたのを
思い出しながら
……

ひとりでおまんこいじめて
イッちゃいました
……

こんなの全然
欲しくなんか……

自分でいじっちゃったのは
汚染されてたせいだもの。

でも
オナニーじゃ
全然足りなくて
……

おちんぽ欲しくて
たまらないの……

お願い……

ナマイキに
発情しちゃう
ララのワルい
未熟おまんこを
……

ぶっ壊しちゃうくらい
おちんぽで
ずぼずぼして……

指じゃ
届かなかった
と……

ぽん

どろっどろの特濃ザーメニで
満タニになるまで
こらしめてください……♡

武装越じじゃない、

今はナマで
こすりつけあっている
コレなら……

違う！

違うの！

こんなの
本心じゃない！

よーし
よしよし
ちゃんと
出来たね
えらいえらい
／

でもそこまで
お願いされちゃあ
しょうがないね。

この悪い
グチヨグチヨ発情
子供おまんこ……

あっ……。

本心なんかじゃ……！

ボクが成敗
してあげる……

ぽぽぽ……♡

入って、

くる……。



ようー!

お母さんっ……

あーっ

ぎゅっ
ちゅっ

あっ!

入ってるっ

入ってる……っ

あっは

ララちゃんきゅっちり
ぬるぬるにしちゃって

やっ……

お母さんが……

いつでも
ウェルカム状態に
出来るなんて
大人になったね

ああっ！
あっ♡

いやでいやで
しがたがなくて

んっ♡

気持ち悪くて

中を突かれると、

私が私じゃない
みたいになる……。

大嫌いだったはずの
この感覚……。

今は
それが……。

ふうっ……
ふうっ♡

お母さんも同じ感覚だったと思うと――。

そんな……

嘘だ……っ♡

とくどくとくど





あーっ
ララちゃん今
潮吹きながら
中イキしたね♡

おまんこ
ぎゅうぎゅうに
締め付けて
おちんちんから
ザーメン搾り取るうと
したね♡

まだビクビクしてる……♡

イッてる♡

ちがっ……、
違うのっ！

危うく射精しちゃう
ところだったよ♡

子供のくせに
そんなことして
悪い子悪い子♡

身体が
勝手に……！

あっ！

イクつてなってる♡

私、
お母さんと一緒だと
気持ちいいんだ……。

またお母さんで
イっちゃってるんだ……♡



ほんとに……。

私
ひどい子かな
……？

お母さん
怒るかな？

？

かしん…
子供の私が
感じちゃいけない
ものな気がする。



ほんとに……、

お母さんも
こんな気持ち
だったの？

何てこと
聞いてるんだろっ？

こんな風に
……。

お母さんも
エッチなこと
していたの……？

私……。



そうだよ。

マリイも
おまんこにおちんぼ
ずぼずぼして
気持ちよく
なっただんだよ。

こいつに聞いたって
どうしようもないのよ。

今の
ララちゃんと
同じさ。



エッチなことをして
気持ちよくなるのは
悪いことじゃないん
だよ。

マリイも
眼鏡のお姉さんも
……。

大人はみんな
エッチなことして
気持ちよくなってる
んだ。

ララちゃんは
大人になろうと
してるんだよ。

大人……。

そういえばいつかに
お母さんも言ってたっけ。

私たちくらいの子は
そろそろ身体が
大人になる準備を
始める年頃
なんだって……。

だからさ。

ララちゃんも
気持ちいいなら
楽しんじゃおうよ。

んっ……

ほーら
下から突き上げられるのも
気持ちいいでしょ？

あっ！

ララちゃん……
今の気持ちを
言ってくらん。

言ってくれたら……。

もっとイイコト
してあげるよ。

あーっ♡

あーっ♡

ゆさ

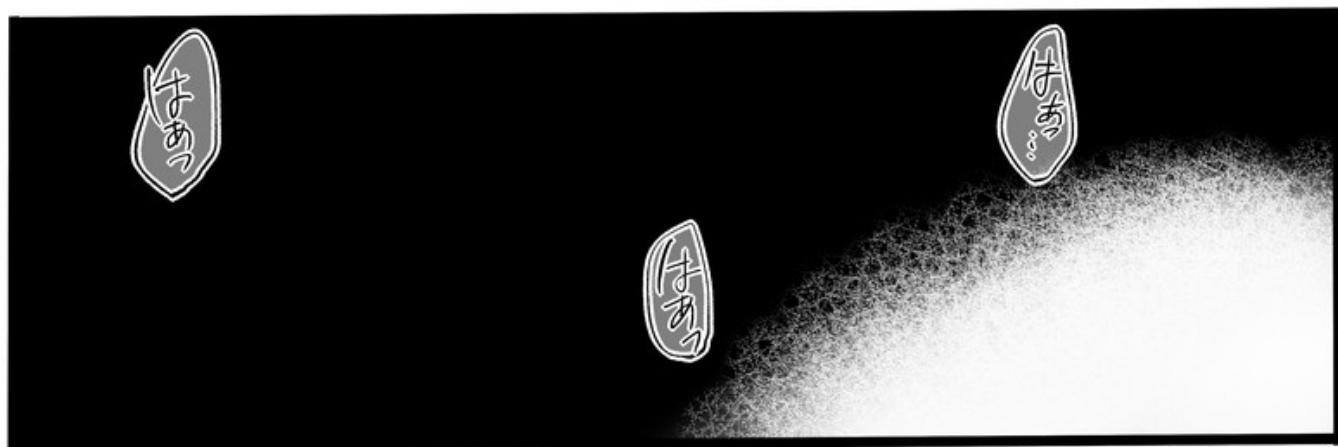
りさ

あーっ♡

あーっ♡

あーっ♡

あーっ♡





それには何か
理由があるの
かしら。



普段から？
それとも
今日だけ？



……ララの苦しみは、

きっとこんなものでは
ないでしょうね……。

また
あの子の話？

こんなときくらい
私と貴女の話をして
くれたって
いいのに。

それに私、
仕事に私情を介入しない
貴女の冷静さを
買っていたのだけれど。

……
やっぱり
気でも触れたの？

そうね
ミシエル。

私、

貴女が
犯されるところも
見たいわ。

あの子のように
自由を奪われ、

屍徒に汚染され、

女として搾取されるだけの
生餌に成り下がった貴女が
どんな顔をするのか……。

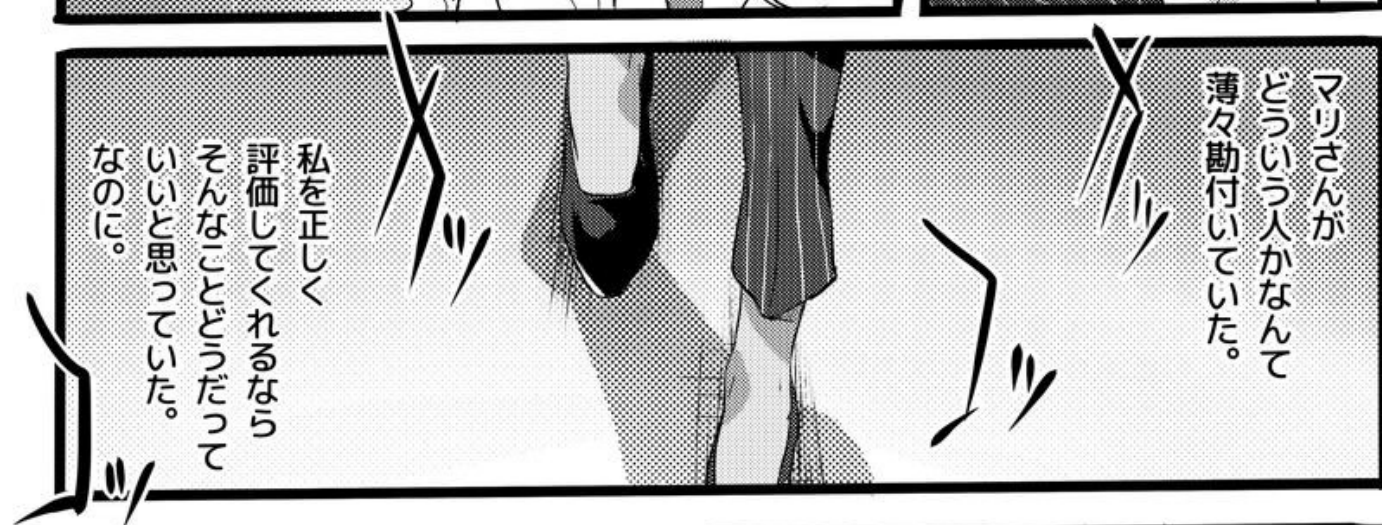
とても
興味がある。

……
わかるわね？

これ以上
私の方針に口を
出すようなら
考えない事も
ないのよ。

—
だから、

馬鹿な気を
起こすのは
やめておきなさいね。





アンタに
用があるのよ。

話しなさい。

ララについて
知ってることを、
洗いざらい全て!!

おまけ

登場人物
とか

● フローラ・ユスラ

『ララ・フジサキ』が休憩室で出会った女性。『ミシェル・ロナス』と同じく[イラミザの戦士]と呼ばれるフジ機関所属の戦闘員。

ミシェルとは対照的に主に戦闘面での活躍が多く、研究・情報管理には一切関与しない。普段はシングルナンバーの[ウイステリア・キッズ]の訓練・育成及び日常生活でのサポートを担う。その正体は大罪のイラミザ・嫉妬のエンヴィーを纏う[イラミザの悪魔]と呼ばれる七人の戦士のひとり。

自己主張の少ない物静かな性格だが、それが災いしてか武装時はイラミザの人格に乗っ取られてしまうため冷徹な人物へと豹変する。

『マリ・フジサキ』とは幼馴染だが現在は心身共に彼女の支配下にある。抗いようのない環境で与えられる苦痛やマリによる異常な愛情表現に晒され続け、彼女は少なからず変わってしまった。

逃げ出すこともかなわぬまま、自身の境遇を呪い他者への羨望に駆られる日々を過ごしている。



● 子供トランサー

『ララ・フジサキ』が調整室で出会った子供トランサー。シングルナンバーのウイステリア・キッズ。

最年少ながら大人顔負けの能力を発揮したため、現在は『マリ・フジサキ』による大規模な生体情報の強化・固定化を行われており長い眠りにについている。

武装すればその力は[イラミザの悪魔]にも匹敵すると言われており、今や他のキッズや[フジ機関]の大人たちの注目の的。

が、ダブルナンバーのキッズとして隔離されている『ララ・フジサキ』はそんなことは露も知らないのであった。

File 01への収録の用語説明とあわせて読んでくれ!!

… 追記有の隠蔽項目

… 何故か今まで説明していなかった
新規項目

用語説明(改) もの2

※ 無印ジジ時代準拠

● 屍徒

TCの死後。昨今急激に数を増した、魂だけの存在となるモトランス界の物質を取り込み現世へと受肉した者達の総称。現世での抛り所を求め次から次へとTCやトランサーを襲うため、ウィステリア・キッズの討伐対象となるが、その生態にはまだ謎が多い。

起源が起源だけに、人工的な生命体であるとの見解も一部の研究者の間では強くなってきたが……？

● イラミザ

人間やTCに作用する生ける戦闘武装の総称。

シス界に太古の昔から伝わる7つの強化武装[大罪のイラミザ]、それを模して作られた『マリ・フジサキ』開発の人造武装[生命のイラミザ]、『ホホワイト・アウト』開発の人造武装[伝承のイラミザ]が確認される。すべてのイラミザは装備者の生力を消費してその能力を発揮する。

● 大罪のイラミザ

シス界の危機を救うとも、破滅を導くとも伝えられる全7種に及ぶ太古の強化武装。全てのTCやトランサーに順応し、後述の人造武装とは比べ物にならないほどの力を発揮する。

七つの大罪に対応しており、[傲慢(プライド)][憤怒(ラース)][嫉妬(エンヴィー)][怠惰(スロウス)][強欲(グリード)][暴食(グラトニー)][色欲(ラスト)]のイラミザが確認されている。内、[憤怒(ラース)][嫉妬(エンヴィー)][色欲(ラスト)]のイラミザはフジ機関に回収された。

全てのトランサーやTCが多かれ少なかれ持つ欲望が起源とされているために高い順応性を誇ると言われている。

● 生命のイラミザ

『マリ・フジサキ』開発の人造武装。トランサーやTCに作用する[大罪のイラミザ]や、他種族を取り込むことで力を得るTCや屍徒の生体情報をヒントに作り出された。

実在する動植物がモチーフにされており、それに類似した生体情報を持つTCの特性・生体情報も付与させている。

● 伝承のイラミザ

『ホホワイト・アウト』開発の人造武装。トランサーやTCに作用する[大罪のイラミザ]や、他種族を取り込むことで力を得るTCや屍徒の生体情報をヒントに作り出された。

神話や童話、人々が作り出した文化やイメージなど広範囲の創作物・空想がモチーフにされており、故にその総開発数は[生命のイラミザ]をゆうに上回るとされている。

『マリ・フジサキ』が保有する[伝承のイラミザ]はかつて『ホホワイト・アウト』がフジ機関に遺したものであり、その存在は[生命のイラミザ]の開発に貢献したと思われるが……。

● 生力

生体の生命活動によって生み出されるもの全般を指す。

屍徒が現世に留まるために必要とする他、FORM-Xに必要な力でもある。

● 捕食

他種族の個体を殺し文字通り捕食することで、対象が保持していた特性や生体情報を自身のものとする屍徒の強化行為。

同時に多量の生力を摂取することも出来るため飢餓状態の屍徒はこの行動を取ることも少なくないが、対象を生かし汚染を続けることで恒久的に生力を得ることが出来るため、一部の屍徒は対象を齧ることを優先する。

● 給餌

屍徒の生命活動を維持するために自らの生力を捧げる事。

フジ機関の研究者、主に『マリ・フジサキ』が管理する屍徒に対して行う。

● 融石(エレメント)

非武装時の各イラミザがとる鉱石のような見た目の物体を指す。

イラミザによるFORM-Xに必要なアイテムであり、これを失うと基本的にFORM-Xが不可能となる。

● アルカ

生体情報をも記録することが出来る小型の生ける記憶装置。ウィステリア・キッズをはじめ多くのトランサーの生体情報の修復・改善などに用いられる。

「道化の騎士ララ・ウィステリア」番外漫画です。
「道化の騎士ララ・ウィステリア File:01」～
「道化の騎士ララ・ウィステリア File:08」まで
読了済推奨の内容になっています。



私が治療のための
眠りから目を覚ますと、
その人はそこにいた。



あら？

起こしちゃった
かしら？
ごめんなさい。

ちょっと休憩
したくて……

悪いけど、
しばらく
お邪魔させてね。

う、
うん……

とつくに冷めてしまったらうカップのミルクと

それを眺める疲労の滲んだ深緑色の瞳が印象的だった。

なんだろう……
この人、

なんとなく私に
似てる気がする。

私はこんなに
綺麗じゃないけど……。

コト

はじめまして。

見ない顔だけど
ダブルナンバーの
子かな？

私、

普段はシングルナンバーの
子達の面倒を見ているの。

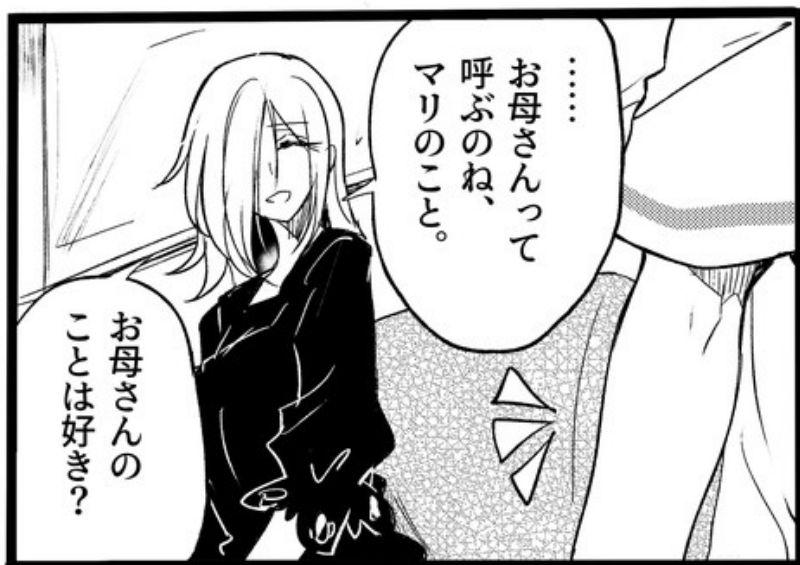
だから、

お互いに名前は
教え合わないほうが
いいかな。

……お母さんも言ってた。

シングルナンバーと
ダブルナンバーのキッズは
活動内容が全然違うから
お互いの事は
知っちゃいけないって……。

特別な施術や
実験を受けているから
私たちダブルナンバーは
隔離されて
暮らしているんだって。



お姉さん、
お母さんのこと
知ってるの？

ええ、
知っているわ。

あなたが生まれる
うんと前から
彼女とは
お友達なのよ。

でも、
そっか。

よかった。

少し安心したわ。

まだ、
あの子のことを
愛してくれる
子がいて……。

？

……あなたは
好きじゃないの？

だけど……、

正直、
この頃は
わからないの。

ずっと親友だと
思ってた。

思ってたのに。

彼女は、
そうじゃなかったの
かもしれない。

……好きよ。

.....??

私ね、
子供がいるの。

さすがに
あなたほど
お姉さんじゃない
けれど、
もう何年も
会えていなくて。

あなたのように、
私を母親として
愛してくれている
かしら。

もしかすると、

私のことなんて
もう……。

そんなこと
ないよ!!

はっ

忘れたり、

嫌ったりなんて
絶対じゃない!

私はお母さんと
離れ離れになっても、
何年経っても、
絶対に忘れないし
大好きなままだよ。

だからお姉さんの子供も、
きっとお姉さんのことが
大好きだよ!

私は
ほんとお母さんを
知らないけど……

ほんとの
お母さんなら
なおさらだと思う。

ありがとう。

優しいのね。



勝手な
お話をしちゃって
ごめんなさい。
付き合ってくれて
ありがとう。

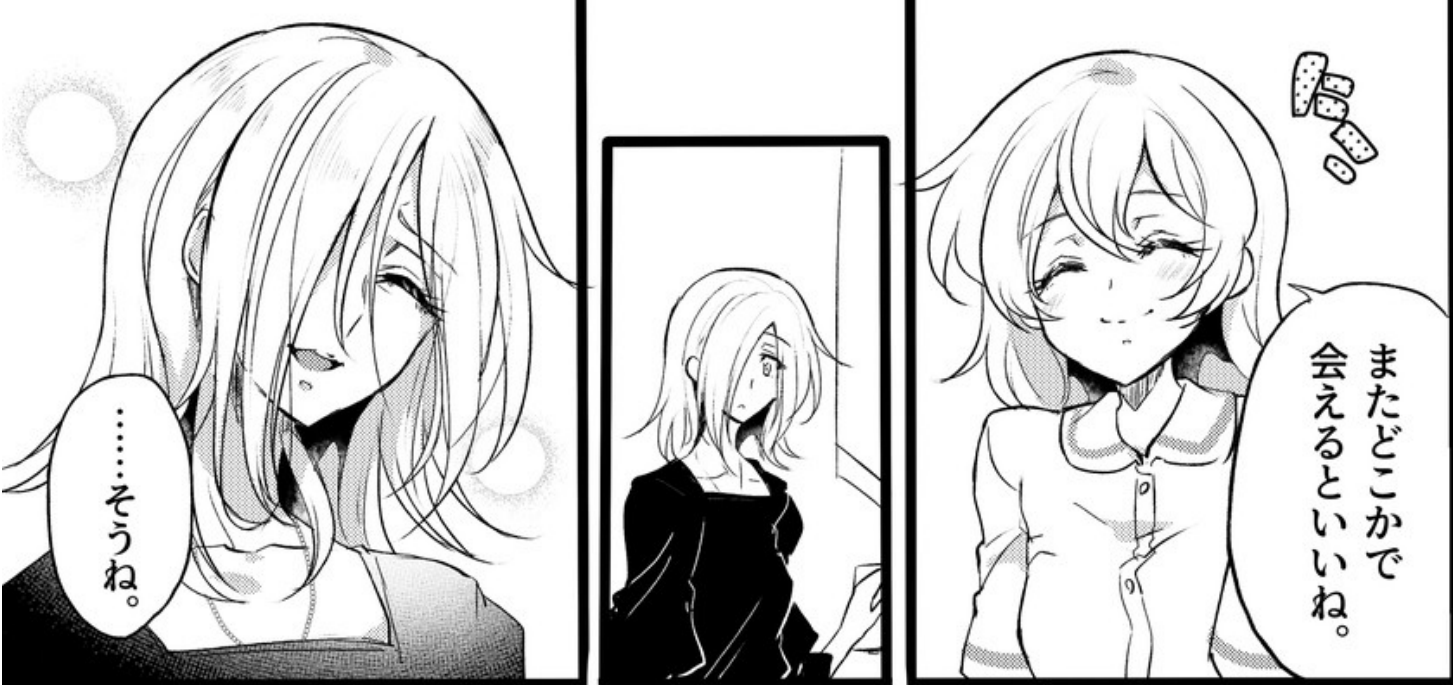
すく

呼び出してみたい。

そろそろ
行かなきゃ。

少しの間だった
けれど……

あなたに会えて
よかったわ。



……
ねえマリ。



もうやめましょう
こんなこと……。

手をどけて、
フローラ。



……
いやなの
もういや……



耐えられない
……っ。



あの子
——娘は今も貴女を
待っているのよ。



っ……。

……。

……っ……。



